



## マンスリーレポート report

### report

■2006年マンスリーNEWS番外編 中国・杭州レポート その2

### 4月14日（金）

2日目のレポートです。

今日は自分たちでガイドを頼み1日観光をしました。まず始めにここ杭州は中国でも有数のリゾート地だと再認識する1日でした。

まずは**西湖**です。杭州の1番の観光スポット！国内外を問わずたくさんの人でにぎわっています。

西湖について説明しましょう。

### 西湖国家級風景名勝区

西湖は昔銭塘江が東シナ海へ流れる前の浅い湾から変わってきたものである。「武風水」「金牛湖」「銭塘湖」「西子湖」等の別称がある。

杭州の西側にあるため、通常は「西湖」と呼ばれている。

水域面積6,38平方キロメートル、深さ平均2,27メートル、最も深いところは5メートルもある。三面は山々に囲まれ、一面は町に面している。西湖の美しさは自然景観と人文との巧みな融合にある。現在、大規模な改造工事を経て、300年以上前の最盛期の風景を復元した。

西湖を中心とする西湖風景名勝区は総面積59万平方キロで、中国の国家級風景名勝区である。中には国家クラス、省クラス、市クラスの文化財は60ヶ所以上を数え風景名勝地は100ヶ所にもものぼる。

■南宋の時代に有名な「西湖十景」が言われ始め、後に新朝の康熙、乾隆両皇帝の題字による勅碑が刻まれ、今日まで伝えられている。最近はまだ「新西湖十景」が選ばれたが、この二十景以外にも風景明媚なところは数え切れない。

■西湖に浮かぶ孤山、蘇堤、白堤そして三つの人工の小島は観光客必見の地であろう。また林の中に見え隠れする靈隠寺、飞来峰の摩崖仏、岳廟、六和塔、浄慈寺などの旧跡も観光客のつめかける名所である。

■このほか、湖をめぐる連なる呉山、玉皇山、宝石山等の名山、龍井、玉泉等の名泉、石屋、煙霞、紫雲等の洞穴。また花港観魚、曲院風荷、柳浪聞鶯等の名園、全て独特の風格と美を感じさせる。



ここは南山路側の西湖です。賑わってます。



この舟に乗って西湖を回ります。



まず、人の多さにビックリしました。西湖は大きくて1日観光しても見切れないほどの大きさです。本来なら舟で島へ渡って行きたかったんですが、その日は人が多く混んでいて、それどころではありませんでした。それなので今回は写真を何枚か撮ってきました。この湖の中に島があり、そのまた中に湖があるそうです。次回は是非ゆっくりと見に行きたいですね！奥さんと。（何年後か分からないけど・・・）杭州に行った方は、是非時間をとって行ってください！

そしてここ西湖の南側に位置する南山路はオシャレ南山路、不夜の延安路などは人々を引き付ける。まさにここはハワイで言えばワイキキ・日本で言えば青山・代官山あたりに似ていてブランドショップが立ち並び、待ち行く人もオシャレな人が多く（中国人は若者）リゾート気分が大いに沸きたてられる場所と言っても良いだろう！

昼は昨日の夜の高銀街（中華レストラン街）に行き昼食を食べました。



このお店安くてうまい。



名前なんだっけこの看板かな？



見てくださいこのマーボ豆腐の色！

この店は庶民的な店で日本で言う、大衆食堂的な感じ、確か4人で腹いっぱい食べて1人800円ぐらいだったかな？  
ビールものんでこの値段、やはり中国恐るべし！しかし写真に出ているアサリとマーボ豆腐の辛いこと！  
食べている最中から汗がダラダラ出てきて、店を出ても汗ダラダラ・・・しかし味はうまい！！

その次は **龍井村** に行ってきました。ここも市内から約1時間ぐらいです。

「西湖龍井茶」の主な産地の一つで、「十里梅塢」言われる。周りは山に囲われ、白い壁、黒い瓦、小さな橋、水が流れ、緑茶の香りが漂うところで、杭州では最も茶の里特色のある農家古村落と茶文化レジャーの観光エリアだり、龍井茶を楽しみ、農家料理を味わう良いところである。中には朱家里は新たに増設したエリアで、乾隆皇帝が訪れたのこのある農家、古井広場、竹林等は梅家塢茶文化村の新しい観光ポイントである。



老龍井賓殿に夕方着きました。



この井戸の水を使用しています。



「殺青」と呼ばれる加熱・茶もみ機



これが新茶です。



味見させてくれます。



葉が沈んできたら飲み頃です。

ちょうどこの時期がお茶摘みの時でしたので、少しお茶をお土産に買ってきました。話によると今年の龍井茶の茶摘は3月16日頃から始まっていますが、「明前茶」と言って清明節（二十四節気の一つ・4月5日）以前に摘まれたものが最も珍重され、値段も一番硬貨なのだそうす。

日本のように機械を使わないので、お茶の木は日本のように丸くなくデコボコしています。

いつかは最新鋭の機械が導入され、この茶畑も日本のように綺麗になっていくのでしょうか？

日本も昔はそうだったのかな？

お茶農家に行き、そこで飲んで味を確かめてからお茶を買うなかなか日本では出来ない良い体験でした！

ちなみに新茶のグレード2ぐらいの新茶500グラムで3000円ぐらいでした。中国にしてははかなり高いと思いますが、家で飲んで見てやはり美味しいお茶だと再認識しました。

その帰りに **雷峰塔** によって来ました。

雷峰塔は西湖十景の中の一つである「雷峰夕照」の所在地です。中国ではよく知られている神話、「白蛇伝（はくじゃでん）」はここが舞台です。中国人に雷峰塔のことを話すと、誰もが、すぐに美しい白娘子という女性を思い出します。

「白蛇伝」とは、許仙と白蛇の精、白娘子の悲恋の物語です。彼女は蛇の正体がばれたことで、法海和尚に塔の下に生き埋めさせられました。ここに来た多くの観光客が、西湖を観光するほか、みな雷峰塔に来て、物語を思い出します。

しかし、実際は、物語の通り、法海和尚が白娘子を生き埋めにした場所では決してありません。当時、呉越国国王の王妃（おうひ）が男の子を産んだことを、国王はたいへん喜び、この塔の建立を命じ、王妃塔と命名しました。もともと仏様の髪の毛の舍利と84000巻の仏教の経文を取めるため、13階のタワーを立てる予定でしたが、お金が足りなくて、7階に変更しました、しかし竣工後、結局5階立てにしできませんでした。

都市の西の郊外にあるので、庶民たちはまたそれを「西関塔」と呼んでいました。後に、人々は塔が雷峰という小さい山の上にあるので、「雷峰塔」と呼び改めました。

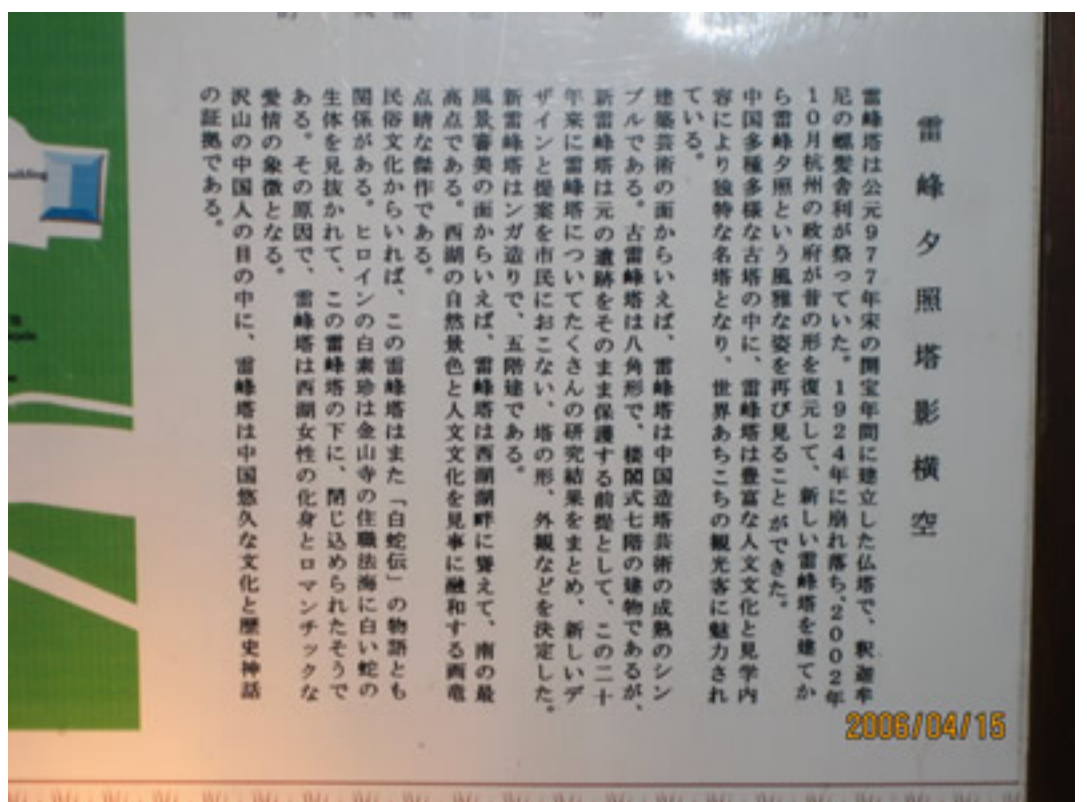
明代、倭寇が中国の東南沿海に侵入しました。当時倭寇は雷峰塔に伏兵（ふくへい）が隠れていると思い、雷峰塔を焼き払いました。ただレンガ造りの塔の黄色い中心の部分だけが残っていました。当時杭州の人は非常に迷信的です。雷峰塔のレンガを家に置くと、鬼を追い出し、邪気（じゃき）を避けることができる、と考えました。結果、レンガがたくさん取られて、最下層のレンガが空っぽになり、1924年9月25日午後、ついに雷峰塔は倒れてしまいました。近年再建された雷峰塔は5階建てで、八角のそりひさしの楼閣タイプの塔です。鉄骨構造で元の土台を台座にして造られました。これは同時に遺跡を保存する建築物になっています。塔の土台より下の2階が八角形の形をしています。土台の周りには石製の欄干が飾ってあります。

塔はご覧の通り、非常に豪華絢爛（ごうかけんらん）です。高さは71メートルで、建築面積は6089㎡。1階の扁額（へんがく）の上に書いてある「雷峰塔」という字は元中国書道家協会主席兼西冷印社社長の啓功先生によって書かれたものです。

では中へ入りましょう。

ごらんください。西湖の保俶塔と向かい合っていますね。夕日が西に沈む時、雷峰塔は夕日に照らされて、人々の心を引き付けます。この美しい雷峰塔と夕焼けを「雷峰夕照」といって、西湖十景の一つにあげられます。

新しくできた塔も、昔と変わらず西湖を眺める一番いい場所です。近くの南屏晚鐘、花港観魚、蘇堤春曉、三潭印月、柳浪聞鶯、遠くの曲院風荷、平湖秋月、断桥残雪、西湖の美しい景色すべて目に収めることができます。



ここに着いたのがもう8時ごろだったので、夕日は見れませんでしたけど、このライトアップはかなり見ごたえがありました。

ここでも時間がなく近くまではいけませんでしたが、明るさはディズニーランド並みの照明かな？東京タワーよりは明るいかな？

ちょっといいすぎ・・・言い過ぎてない。

西湖の逆側から見るとなかなかの景色みたいなので、今度は是非ゆっくり見てみたいです。

晩飯です。

またもや中華！やはり旅行に行ったら現地の人と同じものを食べなきゃ！ですね。



これはアヒルの舌です。なかなか珍味！

肉の中にゴボウみたいな物が入っていて甘いたれの上に、上に砂糖がのっている？



鳥の焼いたもの！これはいけました！



これはパイタンスープでコクがあっとうまい。

お腹もいっぱいになったところで時計を見たら、もう10時を過ぎてるじゃないですか！

急いでホテルに帰り翌日に備え就寝。

な・わ・け・ないじゃろう！

長かった2日目が終わって夜は更けていきました。次回は3日目です。・・・・・・・・・・・・・・・・

[その3 続きを読む](#)

■マンスリーNEWS アーカイブ

<a href="#">➡</a>	番外編その1	<a href="#">2006年マンスリーNEWS番外編 中国・杭州レポート その1</a>
<a href="#">➡</a>	最新	<a href="#">マンスリーNEWS トップページ</a>
<a href="#">➡</a>	2005年度	<a href="#">2005年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>
<a href="#">➡</a>	2004年度	<a href="#">2004年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>